

令和6年度学校経営計画

- 1 学校の状況・・・学級数（5学級） 生徒数（70名） 教職員数（13名）
メールアドレス（jouge-chu@edu.city.fuchu.hiroshima.jp）
HPアドレス（<http://www.edu.city.fuchu.hiroshima.jp/~jouge-chu/>）

2 学校目標と研究主題

- (1) 経営目標：コミュニティ・スクール及び上下地域小中高一貫教育の創造
- (2) 教育目標：挑戦を楽しむ Go for it!
- (3) 研究主題：「学びに向かう力」の育成
～表現力を高める授業づくりを通して～

3 経営理念

- (1) ミッション：使命
- ①郷土上下に誇りを感じ、心豊かな上下っ子の育成
地域を学び、地域で学び、地域から学び、地域とともに学ぶことにより、郷土上下に誇りを感じ、心豊かな上下っ子を育成する。
- ②コミュニティ・スクール（学校運営協議会）の新たな挑戦
生徒の企画運営や地域への啓発等、取組を充実させる。
- ③小中高一貫教育の創造による重点的な資質・能力（言語能力、情報活用能力、問題発見・解決能力等）の育成
- (2) ビジョン：夢
- ①コミュニティ・スクールと小中高一貫教育により、自らへの自信をもつ生徒の健全育成及び自己肯定感を高める。
- ②上下学園教育の充実・発展
- (3) めざす学校像
- ①地域・保護者に信頼される、安心と安全の学校
- ②美しい学校（花に囲まれた、うるおいのある学校）
- ③小中高一貫教育から、夢・志や希望をもてる学校
- ④笑顔とあいさつに満ち、歌声が響き、挑戦を楽しむ学校
- (4) めざす生徒像
- ①主体的対話的に深く学び、協働して行動できる生徒
- ②感謝・感動・感受を共有し、表現力豊かな生徒
- ③高い志と意欲をもち、粘り強く、たくましく人生を切り拓くために主体的に行動し、挑戦を楽しむ生徒
- ④郷土上下に誇りを感じ、地域・社会に貢献する生徒
- (5) めざす教職員像
- ①常に授業改善を図る教職員
- ②教育公務員の自覚をもち、不祥事根絶に努める教職員
- ③目標の実現に向け、「チーム上下中」として協働する教職員
- ④プロの自覚と豊かな発想を持ち、挑戦を楽しむ教職員

4 経営方針

(1) 義務教育学校制度を生かした小中高一貫教育の創造

- ① 上下保育所とも連携し、小学校併設型中学校（上下学園）として、県立上下高校と教育課程調整会議を通して、12年間で重点的に培いたい資質・能力を育成する。
- ② 接続期（小学5・6年生と中学1年生）を意識した研究的な取組による小中の接続を図る。
特に、小学6年生による中学校登校や、音楽科・保健体育科の教員は週時程の中で両小学校へ乗り入れ、学習指導を充実させる。

(2) 学校組織「チーム上下中」として挑戦する学校経営（学校力の向上）

組織として協働しながら、お互いに支え合い、学校総体として教育実践を深めていく。

(3) 教職員の資質と指導力の向上（計画的な人材育成）

- ・チーム担任制の導入
- ・教師力の向上
- ・授業力の向上
- ・人間力の向上
- ・新たな人事評価制度の活用を図る。
- ・道徳をはじめ、様々な研修の機会を有効に利用する。

(4) 上下町の活性化と発展に寄与する教育実践の推進

- ・コミュニティ・スクールによる取組の充実
- ・「ふるさと上下学」の推進

5 重点目標

(1) コミュニティ・スクール及び地域の小中高一貫教育の創造

*カリキュラム・マネジメントによる学びの充実

(2) 「ことば探究科」の充実と表現力を高めるための授業改善

*全職員、一回は研究授業を行う。

(3) 積極的な生徒指導（生徒指導の三機能）と教育相談の推進（感謝・感動・感受を共有できる教育活動）

*全教職員が共通認識をもち、模範となり「当り前のことを当り前に」できるよう繰り返し指導する。

- (重点項目)・あいさつ・返事
- ・聴く姿勢（授業態度など）
 - ・無言清掃
 - ・言葉遣い（他者への思いの伝え方）
 - ・整理・整頓

(4) 生徒一人一人が大切にされる人権教育と特別支援教育の充実

*「みんなちがって、みんないい」（個性・多様性の尊重）

(5) 生徒の主体的な学びによる表現力・体力の向上（縦割り活動の充実）

- ・生徒が企画運営する球技大会の実施（年3回）
- ・スピーチによる自己表現（年3回）

(6) 業務改善の推進と不祥事根絶および危機管理の徹底

- ・企画委員会や分掌部会の機能化・活性化を図り、業務のスリム化と学校経営の組織化を目指す。
- ・不祥事の根絶を期して服務研修を充実させるとともに、危機管理意識を高める。